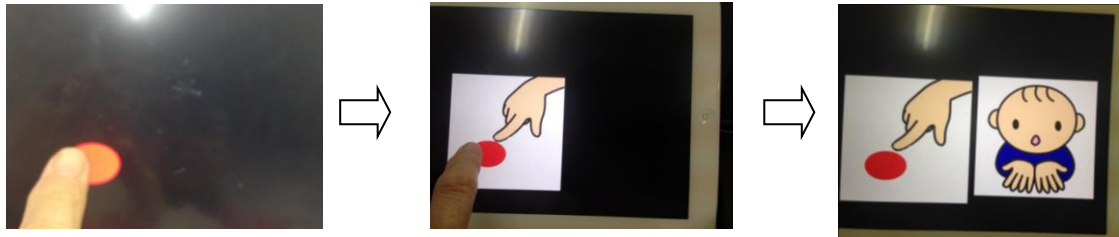


IPad 事例カード 様式

アプリ名	Keynote
教科・領域	作業学習
学習形態	集団（ 人程度） ペア <b>個別</b>
太田ステージ段階	I～II
 <p>①赤いボタンを押す</p> <p>②絵が出て、音声「ここ」</p> <p>③絵が出て、音声「ください。」</p>	
1 アプリの紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・keynoteはプレゼンテーションソフト。写真やビデオを挿入したり、そこに反射や飾り枠を追加するなど、簡単な操作でプレゼンテーションの制作ができる。1枚1枚のスライドに動き（アニメーション）を加える機能が充実しているのが特徴。</li> <li>・ここでは、無料でダウンロードできるドロップス（ドロップレット・プロジェクトが開発、デザインしたシンボル集）を活用した。</li> </ul>
2 使い方	<p>① iPadのKeynoteを立ち上げる。</p> <p>② 画面上の赤い丸を押すと「ここ、ください」と音声と画面が変わる。</p> <p>③ 指差した所に〇〇を置く。</p> <p>※発語等での要求手段が難しい子どもに対し、作業学習で使用しているものを教師に要求するための一手段として活用できる。</p>
3 おすすめポイント ・どんな力がつくか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指差しの促しに効果がある。</li> </ul>

【留意点・その他】